

【 VR 認知症疑似体験 コンテンツ 】



視空間の失認の症状を体験する。距離感がつかめなくなる状況を再現。認知症がある方の『問題行動』とされるものには理由があることに気づく。(2分)



レビー小体型認知症の幻視を再現したコンテンツ。レビー小体病当事者の樋口直美さん完全監修。(5分)



電車でどこで降りるのかわからなくなる状況を体験するコンテンツ。症状だけを見るのではなく、その症状がある方の気持ちを想像する力につなげる。(5分)



認知症と診断された本人を取り巻く家族の対応を2パターンに分けて体験する。おじいちゃんを責め続ける家族と、優しく受け止める家族。本人に対する影響を体験する。(10分)



『やすおじいちゃん物語』とセットで体験するコンテンツ。家族(息子)を取り巻く事情を息子の視点で体験する。(10分)



39歳で認知症と診断された丹野智史さんがモデルの物語。認知症と診断され、落ち込み、鬱病を経て前向きに立ち直るまで、家族、会社、友人がどのように彼を支えたのかを追体験する。(19分)

【 当事者インタビュー 】



50歳でレビー小体型認知症と診断された樋口さん。「レビー小体病幻視編」の制作に込めた思いについて。(4分)



39歳で認知症と診断された丹野智文さん。見当識障害を持ちながら一人で通勤されている中で感じた思いについて。(2分)